

会議議事録

会議の名称	令和6年度 第4回さぬき市子ども・子育て会議
開催日時	令和7年3月18日（火）14時00分～15時30分
開催場所	さぬき市寒川庁舎 301・302会議室
出席者氏名	松原委員、杉浦委員、三谷委員、大山委員、山下委員、山中委員、松本委員、山本委員、新開委員、岡本委員、朝倉委員、川地委員
欠席者氏名	射場委員、阿部委員
事務局職員氏名	健康福祉部 中川部長、教育委員会 佐藤部長、幼保こども園課 酒井課長、国保・健康課 藤井課長、学校教育課 高西課長、子育て支援課 谷課長、幼保こども園課 西川、国保・健康課 白井、子育て支援課 山本、浅利
会議次第	1 開会 2 あいさつ 3 議題 (1) 第2期子ども・子育て支援計画に基づく令和5年度進捗状況に対する質問・意見への回答について (2) パブリックコメントの実施結果について (3) さぬき市こども計画の策定について 4 その他 5 閉会
配付資料	・ 次第、委員名簿 ・ 第2期子ども・子育て支援計画に基づく令和5年度進捗状況（修正版） ・ 第2期子ども・子育て支援計画に基づく令和5年度進捗状況に対する質問・意見への回答について ・ 主な備蓄物資の状況 ・ さぬき市こども計画（素案）に対する意見 ・ さぬき市こども計画 案
その他	傍聴 1名

議事内容	
事務局	・開会
会長（進行）	・挨拶
事務局	・会議の成立、出席者確認、会議の公開について ・傍聴の申し出が1名いらっしゃいます。
会長（進行）	・1名の傍聴を許可します。 ・議題（1）第2期子ども・子育て支援計画に基づく令和5年度進捗状況に対する質問・意見への回答について、事務局から説明願いたい。
事務局	・配付資料確認 ・第2期子ども・子育て支援計画に基づく令和5年度進捗状況に対する質問・意見への回答について説明
会長（進行）	・意見等あれば伺いたい。 ・9番の回答では、比較対象となる県の「香川県健やか子ども支援計画」が1年延長となり、令和7年度中になが策定予定になったとある。今、計画策定は5年おきなので、さぬき市の第4期の計画は6年後になるということか。
事務局	・計画策定の根拠法であるこども基本法では、基本的には国の「こども大綱」を勘案して各市町村のこども計画を策定するようになっており、県の計画は可能であれば勘案するという認識です。中間見直しのタイミングが3年後にあるので、その際には県のこども計画の状況を勘案しながら、見直しを行う予定としています。
委員	・「香川県健やか子ども支援計画」が1年延長になったとあるが、県のホームページを確認すると、昨年12月6日から今年1月6日までパブリックコメントを実施し、結果が公表されているので、すでにできているのではないかなと思うがどうか。
事務局	・「第2期香川県健やか子ども支援計画」は、令和2年度から6年度までと、さぬき市の計画と同じ間隔で予定していましたが、計画の主な内容の部分で、「計画の期間を1年延長し、2期計画として令和2年度から令和7年度までとする」と公表されています。計画が1年遅れたことで、その後の間隔が4年になるのか、5年になるのかは、まだ情報をいただいております。仮に4年の間隔となれば、県下の自治体と同じタイミングで策定できるのではないかと考えています。 ・さぬき市こども計画は11年度までの5か年ですが、9年度に中間見直しを行う予定です。そのタイミングで、県の状況や県下他市の状況を参考にしたいと考えています。
委員	・香川県のホームページ上に素案が出ているようなので、興味のある人は開いてみるとよいと思う。

議事内容	
会長（進行）	・そのほかにあれば、伺いたい。 ・なければ、議題（２）パブリックコメントの実施結果について、事務局から説明願いたい。
事務局	・今回のさぬき市こども計画の策定にあたり、パブリックコメントを、２月７日（金）から３月９日（日）まで実施したところ、意見の提出が２件ありました。そして、これらの意見を取りまとめ、回答を記載したものがこちら（さぬき市こども計画（素案）に対する意見）の資料となります。意見の内容が複数の担当課に分かれていたことから、回答の記載にあたっては、担当課に照会を行い、回答を記載しています。 ・さぬき市こども計画（素案）に対する意見説明 ・今回提出された意見につきましては、すでに計画に記載のある内容や、現在実施している市の施策に対する意見がほとんどであり、計画に直接的に影響する意見はありませんでした。パブリックコメントに対する回答はさぬき市ＨＰにて公表する必要があることから、こちらの回答（案）にご意見がございましたら、お願いしたいと思います。
会長（進行）	・意見等あれば伺いたい。
委員	・１１番の意見にこんにちは赤ちゃん訪問事業についての反対意見がある。保健師と助産師は健康面で必要かもしれないが、子育ては健康面だけでなく、経済的な面や親子関係などの悩みもある。民生・児童委員の中には主任児童委員がおり、これらの委員は個別のケースに対して専門的に対応できるので、この意見は見当違いだと思う。民生・児童委員が子育ての悩みを聞くことも必要だ。市民に主任児童委員の役割等を啓発してほしいとともに、主任児童委員に更なる研修を受講してもらおうと、このような意見は出ないと思う。
会長（進行）	・ほかにあれば伺いたい。
委員	・２番の子ども会について、少子化で企画、運営が難しい会が生まれていると思うが、あえて支援する必要があるのか。子ども会自体がないといけないものかが分からない。私の住んでいる地域は、小学校で集団登校ができないくらいの人数なので、今後、子ども会を運営していけるのか疑問である。
事務局	・子ども会をはじめ、子どもの活動の過渡期だと感じています。少子化に加え、子どもたちが休日に習い事などがあるので、近所の子と遊ぶ時間も昔と比べ、少なくなってきました。それが良いのか悪いのかという議論がありますが、何らかの地域の子どもたちのつながりや、地域の大人を交えてのつながりは絶えないようにしておきたいということが行政の狙いとしてあります。それが子ども会であるべきなのかという議論もありますが、災害時や困ったとき、誰か大人に相談したい、悩み事を打ち明けたいといった、子ども同士で話ができるようなネットワークを壊さないように、絶やさないようにしたいというのが目標としてあります。 ・子ども会活動については、市としては今後も支援を継続していく予定としています。任意団体なので、在り方についてはいろいろな形を考えていくような

議事内容	
事務局（続き）	と思いますが、行政としては何らかの形を取り、地域で子どもたちを見守ってもらいたいという気持ちです。
委員	子ども会の運営が難しいなら、別の方法もあるのではないと思う。地域の大人と子どもの接点、子ども同士のネットワークを子ども会だけに頼る必要はないのかなと思っている。負担になるのにあえて支援して、負担がかかった状態で継続していくのは、今子ども会を運営している保護者にどうかと思うし、子ども会自体の意義を周知できるのかも疑問だ。何か別の方法があれば、そちらをやっていくこともありだと思う。
事務局	その通りだと思います。子ども会の在り方もそうですが、なるべく地域で子どもの親たちが希薄にならないよう、何かしらのつながりを持てるよう、話し合っ、新しい形を見つけてもらうのもよいと思います。行政としては様々な方法を探りながら、大人たちがあきらめないように側面的な支援をしていきたいと思っています。
会長（進行）	- ほかにあれば、伺いたい。 - 一つ一つの意見に丁寧な対応を行っていることに敬意を表したい。 - ほかになければ、議題（３）さぬき市こども計画の策定について、事務局から説明願いたい。
事務局	- こちらのさぬき市こども計画（案）は、前回の第３回会議ご審議いただいた「素案」にさらに修正を加えたものとなっております。修正については、前回の会議で委員の皆様から頂いた意見をもとに、必要な箇所について赤字で修正を加えております。また、今回計画に記載がある関係課に対し、最終の確認依頼を行いました。確認の結果、新たに修正を加えた箇所についても、赤字で記載しています。 - さぬき市こども計画案説明（赤字修正部分のみ）
（株）ぎょうせい担当者	追加説明
会長（進行）	- 意見等あれば伺いたい。 - さぬき市こども計画策定後、市民にどういう形で広報されるのか。様々な子育て支援サービスを考え、体制を整えても、利用者が気付いていない部分もあると思うので、参考までに伺いたい。
事務局	これまでの会議で計画の周知不足というご意見もありましたので、今回の計画策定にあたり、さぬき市のホームページや広報紙はもちろん、比較的若い方にも計画を見てもらえるようにさぬき市公式LINEやインスタグラムなどのSNSを活用した周知方法も検討したいと考えています。
会長（進行）	「構築を図ります」という表現で、今後５年間の計画が示されているが、この事項については何年までに実施、実現したいというような進行表はあるのか。策定後、具体的に立案していくことになるのか。

議事内容	
事務局	・現時点では、進行表まではできていません。令和7年度以降に、どのような形で計画を推進していくかを検討したいと考えています。
副会長	・教育委員会の方に、頭の片隅に置いておいてほしいことがある。新聞等に出ているが、地元に戻って就職してくれたら奨学金を免除するという施策が広がっているようで、さぬき市も巻き込まれる可能性があると思っている。もし隣の三木町が実施したら、若い人材が流れてしまう可能性があると思う。奨学金を全員免除することは財源が持たないと思うが、例えばUターンで戻ってくれて5年勤務してくれたら免除する。免除の金額が仮に50万円だとしたら、さぬき市で勤務して支払われた給与の中の住民税で賄えるのではないかと思ったりした。財源や規制はあると思うが、検討してもらいたい。 ・さぬき市早期支援コーディネーターによる支援は、有効なものになっていると思うが、コーディネーターの意見を教育委員会と打ち合わせし、情報共有をもう少し深めてほしい。 ・子育て施設長の立場としていつも迷うのは発達障害ことである。対象の子どもが情緒クラスなのか、支援クラスなのか、知的クラスなのか、支援学校なのかについて判断に苦慮している。コーディネーターに専門性があるのなら、適切な機関と打ち合わせしてどこが適切な場所なのかをもう少し深めてほしい。私が一緒に小学校や支援学校を訪問して検討することもあるが、行政とともにもう少し手厚いフォローができたらと思う。
事務局	・さぬき市で就職した場合の奨学金の免除については、いろいろなところからご意見があり、以前から内部で継続して検討している項目の一つです。現在のところ、免除するからさぬき市に就職するのかという因果関係と、免除後にさぬき市に住み続けてもらえるのかという部分について、他市の状況見ると疑問が残ります。また、給付型ではない貸与型の奨学金は、返したお金を次に借りる奨学生に回すという方法で運営しています。奨学金に関しては、継続して検討する課題の一つであるため、奨学金制度がより良い制度となるよう、引き続き方法を検討していきたいと思っています。
事務局	・早期支援コーディネーターには各保育所、幼稚園、小学校に行ってもらい、支援の必要な子どもの言語指導等の指導や先生に子どもへの関わり方等の指導を行ってもらっています。就学前施設からすれば、小学校に上がる時が不安であり、指導がほしい時期であるというのは理解していますので、今後、学校や関係課と連携しながら、スムーズに引き継げるような支援を続けていきたいと思っています。
副会長	・学校との連携はよくできていると思う。どちらかといえば情報共有がもう少しあれば心強い。不満があるわけではない。
会長（進行）	・ほかにあれば、伺いたい。

議事内容	
委員	・子育て支援に関しては、各市が競争のようになっている。市としても若い人や子どもが大事なので、取り合いになってくると思う。 ・4月以降、第3子以降の給食費無料化が始まると思います。私が見たお知らせには第3子の認識の例がいくつか挙げられていた。今の時代、離婚や再婚があり、何番目の子どもかが変わることがあるため、判断が難しいと思った。知らない間に離婚、再婚していたなどの事例もあると思ったので、いずれは子どもの給食費無償にした方が分かりやすいと感じた。制度が始まった後、市は第3子の判断の難しさを感じるのではないかと思った。
事務局	・第3子以降の無償化は県が絡んでいます。市が無償化するのであれば、県が補助金を出すことになっているので、基本的には県の事業が主となっています。県の要綱に沿って事業を進める必要があります、その中で第3子の規定があるためとても分かりにくくなっている。無償化については、子どもの食事代くらいは保護者が出してくれないかという意見や、子どものことだから国が面倒を見て無償化するべきだという意見など、いろいろあります。 ・子育てに関する注目が段々と上がってきており、いよいよ給食費まで切り込んできたかというのが行政の感触です。給食費無償化をはじめ、子育て支援には財源が必要なので、国がどう考えていくのか、市としてどう考えていくかが大きな課題だと思います。なるべく市民にご迷惑かけないように、分かりやすく施策を展開していきたいと思っています。
委員	・先ほど話があった公式LINEについて、以前、道路損傷の通報フォームを使ったことがあるが、通報後1週間くらいで修理されていた。このように、実際に使用し、目に見えてすぐにフィードバックがあるということが分かると、皆利用すると思う。このような使い方ができれば、もっと市民が住みやすくなると思うので、公式LINE活用方法については検討してもらいたい。
事務局	・庁内で情報を共有し、前向きに検討したいと思います。
会長（進行）	・これまでさぬき市こども計画案の内容についての意見はなかった。ほかにご意見がなければ、このさぬき市こども計画案を令和7年度からの次期さぬき市こども計画として策定したいと思うが、承認をいただけるか。 ・意見がないので、これにてさぬき市こども計画の策定とする。 ・全体を通して、意見等あれば伺いたい。
事務局	・今年度は、計画策定の年度であったため、例年より会議の回数が多くなりました。委員の皆様におかれましては、お忙しい中、複数回会議にご出席いただきまして誠にありがとうございました。この場をお借りしまして、お礼を申し上げます。また、来年度以降も会議は継続していきますので、今後ともご協力をお願いいたします。 ・パブリックコメントの中にあった意見を一つ紹介したいと思います。2名からたくさんのご意見をいただきましたが、最後に余談として「大学生、中学生の娘は、のんびりしたさぬき市が好きなようで、少し前の若者ほど都会への憧れは低いように感じます。」とありました。我々はこの文章に背中を押されたよ

議事内容	
事務局（続き）	うな気がします。今回のさぬき市こども計画策定を機に、若者に故郷のさぬき市に定住してもらえるよう、さぬき市を愛してもらえるよう、我々も力を尽くしていきたいと思います。本日はありがとうございました。
会長（進行）	・ほかに意見がなければ、終了したいと思う。計画の実現を通して、子どもの笑顔、保護者の笑顔、そして市民の笑顔でいっぱいになるさぬき市になるよう祈念したい。 ・閉会

以上